

## 高等学校 芸術（音楽）

### 解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1**～大問 **2**については、記述式解答用紙に、大問 **3**～大問 **4**については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。  
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3**～大問 **4**の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。  
例えば、「解答番号は  」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号  の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。



1 これから放送されるア～カの音楽や楽器の音を聴いて、次の（１）～（３）の問いに答えよ。

（１）ア～エの楽曲名と作曲者名を記せ。なお、解答用紙の「」に、必要な事項を記入すること。

（２）オで使用されている楽器名を３つ記せ。

（３）カの楽器に関連のある国または地域を下の語群 A～E から一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、この楽器名を記せ。

（語群）	A 北アフリカ	B 南アメリカ	C インドネシア
	D マダガスカル	E 朝鮮半島	

2 次の(1)～(2)の問いに答えよ。

(1)「浜辺の歌」(林古溪 作詞、成田為三 作曲)の旋律を解答用紙の五線譜に、以下に示す音符や記号の中から必要なものを使用して、適切な楽譜として完成せよ。なお、調性は、ホ長調の属調とする。

【音符や記号】

全音符、二分音符、四分音符、八分音符、十六分音符、付点二分音符、付点四分音符、付点八分音符、全休符、二分休符、四分休符、八分休符、十六分休符、付点二分休符、付点四分休符、付点八分休符、三連符、タイ、調号、臨時記号、拍子記号

(2) 次の楽譜は、ベートーヴェン作曲の「ピアノソナタ第8番ハ短調作品13『悲愴』 第2楽章」の主題の旋律の一部である。

Ab Eb7/D<sub>b</sub> Ab/C Eb7/G Ab Eb/G F<sub>m</sub> B<sub>b</sub>7/F Eb Eb

G<sup>-5</sup><sub>m</sub>7/D<sub>b</sub> Eb7/D<sub>b</sub> Ab/C F7 B<sub>b</sub>m Eb7 Eb7/A<sub>b</sub> Ab

5小節目 6小節目 7小節目

この旋律を活用して、ソプラノリコーダー、アルトリコーダー、テナーリコーダー及びギターの合奏用の教材を作成する。この旋律の調性をト長調に移調するとともに音符の音価を2倍に表記して、ソプラノリコーダーのパートを解答用紙の総譜に示している。

解答用紙にあるソプラノリコーダーのパートの5小節目～7小節目に適切な音符を記入し、ベートーヴェン作曲の「ピアノソナタ第8番ハ短調作品13『悲愴』 第2楽章」の主題を完成せよ。

さらに、アルトリコーダー、テナーリコーダー、ギターのパート譜に、楽譜に記載しているコードネームを基とした和音となるように、各パートの音符を実音で記入し、適切な総譜として完成せよ。

なお、3小節目と8小節目はソプラノのパート譜と同じ音価の音符で表記し、それ以外の小節目は2分音符で表記し作成すること。

3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) ムソルグスキー作曲の組曲「展覧会の絵」に含まれる楽曲名とそれに関連した画家の名前の組合せとして適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

[ 楽曲名 ]	/	[ 画家の名前 ]
1 カタコンブ	/	ゴーギャン
2 テュイルリー	/	ミレー
3 古城	/	ガルトマン
4 殻をつけたひなどりのバレエ	/	ピカソ
5 サミュエル・ゴールデンベルクとシュムイレ	/	ボッティチェッリ

(2) 「ナーハタンツ」の説明として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 17～18世紀の舞踏会や組曲で使用された舞曲。楽譜は4分の3拍子で書かれているが、踊りのステップは6つなので、実際には2小節が1単位となる。
- 2 ブルターニュ地方の民俗舞踊。跳躍からの両足着地による強いアクセントをもち、単純明快で牧歌風の舞曲として人気があった。
- 3 16～17世紀初期の2拍子のゆっくりとした宮廷舞踏。名称は、孔雀が美しい羽根をゆったり広げる様子を連想させるからとの説もある。
- 4 12世紀頃から存在し、偶数拍子のゆるやかなダンスのあとにつづく3拍子系の速いダンス音楽。16世紀頃の舞踊音楽ではガイヤルドなどがある。
- 5 ポーランドの国民的舞曲で、壮大な祝祭の気分をもつ。17世紀の農民や市民のホゾニが起源と考えられ、これが貴族の宮廷や王宮でも踊られるようになった。

(3) バレエ音楽「春の祭典」の作曲家の作品として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 交響詩「ペレアスとメリザンド」
- 2 バレエ音楽「ペトルーシュカ」
- 3 舞台作品「兵士の物語」
- 4 バレエ・カンタータ「結婚」
- 5 オペラ「夜鳴うぐいす」

(4) 音楽用語とその意味の組合せとして適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 scorrendo / 流れるように
- 2 scivolando / 滑るように
- 3 slargando / だんだん遅く、だんだん幅広く
- 4 lieto / 楽しげな
- 5 luttuoso / 愛らしく

(5) 「千人の交響曲」といわれるマーラー作曲の「交響曲第8番変ホ長調」で使用される楽器として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ピアノ      2 マンドリン      3 鐘      4 ギター      5 パイプオルガン

(6) オルゲルプンクトの説明として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 機械仕掛けのオルガン。ハンドルを回転させ、ふいごで空気を圧縮しパイプに送り込み演奏する。
- 2 グレゴリオ聖歌の歌唱に際して、ヴェルススに代わって演奏される短いオルガン曲。
- 3 他声部の和音変化に関係なく長くのばされるバスの音。
- 4 プロテスタントのコラール旋律を引きのばしたり装飾を加えたりして、オルガン用の多声部曲に編曲したもの。
- 5 オルガンの演奏台、パイプ、送風装置をつなげる中心的機構。

(7) ドイツの作曲家であるメンデルスゾーン (Mendelssohn, Felix) の説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 銀行家の第2子として誕生した。
- 2 母親から音楽の手ほどきを受けた後、ベルガー及びツェルターからピアノおよび作曲を学んだ。
- 3 名声を高めるのに貢献したのは、1829年のJ.S.バッハ作曲の「ヨハネ受難曲」の再演であった。
- 4 1835年にライプツィヒに移り、ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者となった。
- 5 主要な作品として、「ヴァイオリン協奏曲ホ短調」「無言歌」などがある。

(8) ビゼー作曲のオペラ「カルメン」に登場する人物とその歌手の声の種類を組合せとして最も適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- |   |                |   |                 |
|---|----------------|---|-----------------|
| 1 | カルメン (ソプラノ)    | / | ミカエラ (アルト) /    |
|   | ドン・ホセ (テノール)   | / | エスカミーリョ (バリトン)  |
| 2 | ミカエラ (ソプラノ)    | / | カルメン (メゾソプラノ) / |
|   | エスカミーリョ (テノール) | / | ドン・ホセ (バス)      |
| 3 | カルメン (ソプラノ)    | / | エスカミーリョ (アルト) / |
|   | ミカエラ (テノール)    | / | ドン・ホセ (バリトン)    |
| 4 | カルメン (ソプラノ)    | / | エスカミーリョ (アルト) / |
|   | ドン・ホセ (テノール)   | / | ミカエラ (バス)       |
| 5 | ミカエラ (ソプラノ)    | / | カルメン (メゾソプラノ) / |
|   | ドン・ホセ (テノール)   | / | エスカミーリョ (バリトン)  |

(9) 次に示すハープシコードに関する説明の空欄 (ア)、(イ) に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

ルネサンス時代に用いられた楽器は、バロック時代を通して引き続き用いられたが、それぞれの楽器には全て、この時代に、機械操作の上から改良が加えられた。

ハープシコードは地域によって名称が異なり、フランスでは ( ア )、イタリアではチェンバロ等いろいろな名称で呼ばれていた。

一般的には、一段鍵盤のものや二段鍵盤のものがあり、( イ ) 鍵盤楽器である。また、バッソ・コンティヌオ (通奏低音) の演奏用に用いられたので、バロック時代の合奏音楽の中で、その響きはもっとも特色のあるもののひとつになっていた。

- |   |           |   |   |
|---|-----------|---|---|
| 1 | ア クラブサン   | イ | ハンマーで叩いて弦を振動させて音を出す                                   |
| 2 | ア クラブサン   | イ | 鍵盤を押すとはね返し装置が上がって中継てこを突き上げ、その勢いでハンマーが弦を叩く             |
| 3 | ア クラヴィコード | イ | 弦をタンジェントと呼ばれる金具で突き上げることで音を出す                          |
| 4 | ア クラブサン   | イ | 鍵盤を押すとその奥の端にあるジャックとよばれる木の棒が上がり、ジャックの上端についている爪が弦をはじく   |
| 5 | ア クラヴィコード | イ | いくつかの鍵盤が弦を共用するフレット式と、一つひとつの鍵盤に専用の弦が張られたフレットフリー式に大別される |

(10) 次の説明文が表すものとして適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

速度法で、演奏の時に、厳格なテンポ、リズムに微妙な変化を付けて精彩豊かにする方法。

- 1 デュナーミク
- 2 アゴーギク
- 3 フラジョレット
- 4 フレージング
- 5 オルディナーリオ

(11) 次に示す弦楽器に関する説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 日本の胡弓は日本伝統音楽における唯一の擦弦楽器である。
- 2 奚琴は、中国、朝鮮のリユート属弦鳴楽器である。
- 3 阮咸は、唐代の中国で用いられたリユート属の撥弦楽器である。日本の正倉院御物の中にも残っている。
- 4 月琴は、阮咸から発達した撥弦楽器で、平安時代に中国から日本に伝来した。
- 5 和琴は、雅楽の御神楽や東遊で使用され「やまごごと」とも呼ばれる。

(12) 次に示す日本の伝統音楽の管楽器に関する説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 明笛は端唄で使われる代表的な楽器で、江戸中期から幕末にかけて江戸市中で流行した。
- 2 篠笛は篠竹でつくられた横笛で、長唄の囃子や歌舞伎の下座音楽、祭囃子などに使われる。
- 3 筒音とは、笛の類において、すべての指孔を閉じて自然に吹いた時の音である。
- 4 古代尺八は、雅楽の楽器として伝来し、正倉院の宝物として現存するため正倉院尺八ともいう。
- 5 笙は単旋律も奏するが、重音を奏することのできる管楽器である。



(13) 「能」の五番立とその説明として適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- 1 初番目物 必ず神が出現して祝福を垂れる祝言第一の能で、すこやかにのびのびとして、しかも強さ、厳しさを合わせもっている。
- 2 二番目物 修羅物ともいわれ、合戦で死んだ武士の霊が、その執念のために成仏できず修羅道で迷い続け、この世にもその苦しむ姿であられる様子を描いた能である。
- 3 三番目物 狂女物といわれ、おもに女性が主人公であり、幽玄という言葉に象徴される能の中心演目である。
- 4 四番目物 雑能といわれ、初番目物・二番目物・三番目物・五番目物以外の物で、曲目数が多く内容も種々雑多である。
- 5 五番目物 切能といわれ、速いテンポで大きな動きを特徴とし、豪壮、絢爛に盛り上げる。

(14) 「三味線」の説明として適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 近世に発生した各種の音楽に非常に広く使用されたりゅうト属の弦鳴楽器で、日本音楽の楽器の中でも重要な存在である。
- 2 サワリとは、中国の三弦にはみられない日本独自の工夫であり、ビーンというしびれたような独特の音色は、これによって生じる。
- 3 奏法の中には、撥を使わず左手の指で糸を掻くように弾くハジキや、糸を打って発音するウチという奏法もある。
- 4 海老尾（天神）とは棹の下端が胴を貫通して外に突出した部分であり、ここに根緒を止める。
- 5 太棹は義太夫節など、中棹は常磐津節など、細棹は萩江節などで用いられる。

(15) 次に示す民謡とその地域の組合せとして適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | [民謡]     | / | [地域] |
|----------|---|------|
| 1 江差追分   | / | 北海道  |
| 2 こきりこ節  | / | 福島県  |
| 3 デカンショ節 | / | 兵庫県  |
| 4 牛深ハイヤ節 | / | 熊本県  |
| 5 谷茶前節   | / | 沖縄県  |

4 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術」について、以下の（1）～（2）の問いに答えよ。

（1）「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 第1音楽Ⅰ」について、次のA～Eの問いに答えよ。

A 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ  
1 目標  
(3) 主体的・（ ア ）に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、（ イ ）、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- |   |       |                       |
|---|-------|-----------------------|
| 1 | ア 協働的 | イ 音楽文化に親しみ            |
| 2 | ア 対話的 | イ 音楽文化についての理解を深め      |
| 3 | ア 協働的 | イ 創意工夫を生かした音楽表現をすることや |
| 4 | ア 対話的 | イ 音楽の多様性について理解するとともに  |
| 5 | ア 協働的 | イ 創造的な表現と鑑賞の能力を高め     |

B 次に示す空欄に当てはまる語句として適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ  
2 内容  
B 鑑賞  
鑑賞に関する資質・能力を次のとおり育成する。  
(1) 鑑賞  
鑑賞に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。  
ア 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、次の(ア)から(ウ)までについて考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くこと。  
(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠  
(イ) 自分や社会にとっての音楽の意味や価値  
(ウ) ( )

- 1 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり
- 2 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴
- 3 音楽と人間の感情との関わり及び社会における音楽に関わる人々の役割
- 4 現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴
- 5 音楽表現の共通性や固有性

C 次の空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽 I

2 内容

〔共通事項〕

表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている（ ア ），それらの働きを感受しながら、  
（ イ ）。

- 1 ア 要素及び音楽に関する用語や記号などを理解し  
イ 理解したことと感受したこととの関わりについて考えること
- 2 ア 要素や要素同士の関連を知覚し  
イ 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること
- 3 ア 音素材の特徴を知覚し  
イ 知覚したことと感受したこととの関わりについて理解すること
- 4 ア 音素材の関連を理解し  
イ 理解したことと感受したこととの関わりについて考えること
- 5 ア 要素及び音楽に関する用語や記号などを知覚し  
イ 知覚したことと感受したこととの関わりについて理解すること

D 次の空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

3 内容の取扱い

(7) 内容の「A表現」の(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、( )を重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。

- 1 自己のイメージや感情
- 2 音楽を形づくっている要素
- 3 音を音楽へと構成すること
- 4 音楽づくりの様々な発想
- 5 どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつこと

E 次の空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第2款 各科目 第1 音楽I

3 内容の取扱い

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、( )について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

- 1 消費者の基本的な権利
- 2 著作権法第35条
- 3 音楽に関する知的財産権
- 4 著作権法第30条
- 5 著作権思想の普及

(2) 「高等学校学習指導要領（平成30年3月告示） 第2章 第7節 芸術 第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」について、次の空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第3款 各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い

1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(3) 障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる（ア）に応じた（イ）計画的、組織的に行うこと。

- |   |        |                    |
|---|--------|--------------------|
| 1 | ア 困り感  | イ 長期目標と短期目標を立てた指導を |
| 2 | ア 困り感  | イ 授業形態や集団の構成の工夫を   |
| 3 | ア 学習負担 | イ 心理面の配慮を          |
| 4 | ア 困難さ  | イ 指導内容や指導方法の工夫を    |
| 5 | ア 困難さ  | イ 合理的配慮を           |

